

陳情文書表
(令和7年第2回定例会)

陳情第11号	令和7年6月11日受理
付託委員会	都市常任委員会
件名	公共交通に関わる種々事業に関する件
陳情要旨	
<p>市長活動の中で、市民の方々から多くの声が寄せられました。現在の公共交通の実際についてつぶさにその声を聞きとり、内容を要約すると、①ぐるっと号の運行状況の改善、②タクシー券の課題、③民間会社との連携に集約することができました。</p> <p>市民ひとりひとりの声をここに記すには内容が多すぎて、紙面が足りない為、市議の皆様におかれましては各地域の実情についてお話申し上げるまでもなく、ご存知のことと拝察致します為、割愛させていただきます。</p> <p>ことに、課題が大きく深刻なのは、北部（米本地区他）、そして、中央部に関しても、土日の運行がなく、出かけたくても出かけられない、楽しいイベントにも参加できない方々にとって、生きがいを喪わせることにもつながり、ひとり住まいの方々、ご高齢者、障害を負う方々にとっては、身近な、そして喫緊の社会的解決を図らねばならない事業と認識致します。</p> <p>皆様方の英断を心より切望するものであります。</p> <p>1. 交通弱者のための施策を再検討して、再構築し、市民の方々の希望をつなぎ、そして幸せに導くことのできるよう、公共交通の運行に関して熟慮、考慮し、思慮深い会議を経て、「八千代市はとても便利だから住みたい。」と感じられる市民の笑顔を創り出すこと。（例えばぐるっと号の運行、例えばタクシー券の制度、施策、例えば民間輸送事業者（タクシー）との連携によるデマンドタクシーの施策、タクシー会社との連携を深めることによる見守りや配送先、送迎先の情報共有（認知症の市民の方々が増えてきている為、行き先がわからず、お客様、タクシー会社担当者も困り果ててしまっている事象が増えてきている。）など）</p>	